

カナダ研修報告書

経済経営学部経営学コース2年 上原千宙

私が留学をするにあたり決め手の一つとなったのが、先輩方の「研修報告書」です。今度は私の報告書が誰かの留学の後押しとなってくれば幸いです。この報告書では、「留学の目標達成度」「授業」「アクティビティ」「大学寮」の主に4つの観点から、留学を振り返っていきたいと思います。

★留学の目標達成度について

研修前はさほど期待していなかった語学力の向上ですが、英語が当たり前に使われる環境下で暮らしたことで、ヒアリングの能力が少し向上したと実感しています。スピーキング能力の方は、研修から1週間ほど経過したところから、周囲の人が自分から積極的に外国人の人に話しかけている姿に刺激され、自分も失敗を恐れずトライすることができるようになりました。寮生活で同じ研修に参加していた人達の将来設計や、英語の勉強への取り組みを聞いて、研修後の英語学習継続のモチベーションが向上しました。他人から刺激を受け、英語学習の動機を作るとは、研修以前からの目標でした。大いに達成できたのではないかと思います。

また、当初の目標でもあった「視野を広げる」ということに関しても、その目標を十分に達成できたと感じています。日本で暮らしていて当たり前だと思っていたことができなかったり、日本人と外国人との価値観の違いであったり、日本にいては経験できないようなことばかりでした。特にこの研修が短縮された原因でもあるコロナウイルスが、カナダでも感染拡大が確認されたことにより、授業やアクティビティの中止、周辺の飲食店などのお店の閉鎖など、一定の期間はできることがとても限られていました。しかしその中でも、「ピアヘルパー」と呼ばれる自主的に我々のプログラムに協力して下さった現地の方々との交流は途絶えるどころか、それ以前より活発に行われるようになりました。人の優しさに触れた時でした。この研修を通して、英語のコミュニケーション能力を向上させること以上に人間として成長できたと実感しています。

★授業について

英語授業ではreading, writing, cultural studies, innovation enrichment, presentation という5つのジャンルに分けて行われました。多くのジャンルで、日本とカナダの違いについて考える場面が多くありました。英語授業では、日本の授業よりも先生に唐突に当てられる回数が多いと感じました。しかしそれはとても良いことだと思います。たとえそれが母国語の授業であっても、唐突に当てられて的確な回答を導き出すことは難しいことです。ましてや第二言語となればその難しさは計り知れません。それを私はどんなに短い言葉でも返答はするように心がけていました。英語でできれば日本語では絶対できると思うので、自分の意見を即座にまとめて口に出して言うよう努力するべきだと思います。

★アクティビティや課外活動について

事前に多くのアクティビティや課外活動が用意されており、授業よりも楽しみにしていたというのが本音です。コロナ禍で一定の活動が制限された中でも、現地の方の配慮によりトロント観光やナイアガラ滝には行くことができました。アクティビティでは授業や寮生活以上に外国人と触れ合う機会が多いので、外国人とよりコミュニケーションを取ることができたので、スピーキング能力の向上という側面では非常に有益であったと感じています。

★大学寮について

シャワーやトイレは共同でしたが、1人部屋だったので誰にも気を遣わずにゆったりと過ごすことができました。ただ、扉の下が換気のためか空いており、廊下に響きやすいのでそこには少し配慮しました。また、大学寮にはカフェテリアがあり、そこで朝昼晩の食事を済ませることもできるのでとても便利です。部屋で1人が寂しいという人はそこで友達と課題やお喋りをするのも良いと思います。洗濯などは無論自分でするのですが、時間を見つけて空いた時間に課題や洗濯、掃除をするなど、自分で時間を有効活用することの大切さを学びました。想像以上に自由度の高い大学寮での生活はとても快適だったので、カナダでの寮生活をお勧めできます。

★全体を通して

授業においても課外活動においても、海外に行って1番重要なことは「積極性」であると感じました。同じ言語を持つ人と話すのはもちろん気が楽なので逃げ場としがちですが、それでは研修にきた意味がありません。そこで私はコンバセーションパートナーというこのプログラム独自のシステムを利用して、同年代の外国人と話す機会を自分で作りました。それによってその外国人の友達とも仲良くなることができたので、本当に積極性は大事だと思いました。そのためにも、何より失敗を恐れないことが大切だと実感しました。

成功には失敗がつきものです。乗り越えるべき壁には正面からぶつかり、1度でも挫折を味わった方が良いでしょう。私も最初は、話しても通じないことが多々ありましたが、それでもめげずに話すというのを続けていくうちに、英語でコミュニケーションを取ることが楽しくなるまでになりました。留学は英語スキルだけでなく、自分自身を成長させることのできる良い機会だと思います。そのため、この報告書を見てくださった在校生やこれから都立大への入学を考えている人には、特にお勧めしたいです。この状況下では海外に行くこと自体が困難であるため、コロナがいち早く終息することを祈るばかりです。

